

叢雲催眠

おまけ本



「ふん！
朝からアンタらの朝勃ち生チンポじゃぶって
綺麗にスツキリさせてあげてるんだから、感謝しなさいッ！」

「はらはらW」

「まずは俺のチンカス
嗅いで心の籠った
挨拶のようなW」

「すう~~~~~んっ♡

今から叢雲がこのチンカス
まみれ汚ちんぽに舌と唾液を
たっぷり絡めたお掃除します……」



「おら
ケツ穴に
キスしろ！」

「くっ……！」

「ぶふっ W
無様にケツ穴
舐めてやがる
マジぐうしろ W」

「うっ……」

「ロロ」

「うっ……」

「ちゅるるっ」

「おほっ
マジ気持ちいいわ W
一発ぶん殴つてやりたくって
思ってた女を跪かせてアナル舐め
あ……優越感」

「す……♡」

「は……♡」

「ロロ」

「ちゅ?」
「ちゅ?」
「ちゅ?」
「ちゅ?」
「ちゅ?」
「ちゅ?」
「ちゅ?」
「ちゅ?」
「ちゅ?」
「ちゅ?」

[Redacted]

「ちゅ?」

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

ちゅこちゅこ
ちゅこちゅこ



ちゅこちゅこ
ちゅこちゅこ



「ああー……♡
濃いのが上がってきたぞおおー♡
顔射で出すからな!♡」

「お前の高慢ちきな顔面に
濃いのがぶっかけてやる!♡」

じゅるじゅる
じゅるじゅる
じゅるじゅる

ぢゅ
ぢゅ

ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

ぢゅ♡

ぢゅ♡

「あ〜♡出すぞ〜♡」

はー

はー

「顔面でしっかりと受け止める！」

便女

催眠中

ナシ

ハッ





たははは

「んん」

び
ゅ
る

る
る

便女

催眠中

ん

ん
ん
ん
ん
ん

「ピースしろ
ピース」

どろお...
山雀眠中

「あの叢雲にタツプリーブつかけてやったぜw
写メ撮ってそのマヌケ面晒してやるからな！
感謝の言葉はどうした？あ？」

「...あ、ありがとう
ございました...」
（死ねッ！）